

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもの家すくすくしえんせんたー風のこどり					公表日	令和 7 年 2 月 28 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・ 体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		お誕生日会、卒園の会等の際は、間仕切りを開けて部屋を開放にするなど、人数に合わせて空間の使い方を工夫しています。	利用人数や行事等に合わせて、スペースの調整をしながら、過ごしやすい空間をつくっています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・ こどもの状態に合わせて配置をしています。基準よりもだいたい手厚く配置できていると思います。 ・ 配置基準に沿って配置しています。状況によっては、プラスの職員の配置もしています。	今後も子どもたちの様子に配慮しながら、安心安全に配置できるようにしていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		活動に集中できるように配慮されています。	環境設定に十分留意して、活動に集中して取り組めるように配慮していきます。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		お掃除、安全点検を丁寧に行っています。	今後も清潔に保つていけるよう、努めていきます。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			子どもの様子に応じて静かな空間で気持ちを落ち着かせることができるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			業務を円滑に進められるよう、意見のある職員は声をあげています。今後も発信しやすい職場環境を目指し、取り組んでいきます。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・ 毎年、アンケートを全職員で確認しながら、改善に向けて努力しています。 ・ 一斉メールを利用して評価表へ入力をお願いし、集計されたものを職員全体で目を通した上で必要に応じて返しを作成しています。	今後も保護者のご意見を全職員で把握、共有すると共に、可能な限り取り入れながら、皆様が安心して楽しく過ごせる環境を提供してまいりたいと思います。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			日々の業務の中で、気づいた点、改善が必要だと思う点は、朝の打ち合わせや職員会議などでその都度発信や共有ができています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○	○			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎月研修を実施しており、内容も重なることが無いようにしています。	外部で行われている研修に誰でも参加できるように心がけています。	
適切か	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			今後も適切に公表していきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・ 関わる職員同士で様子を共有し、アセスメントシートを記入し、保護者アンケートを踏まえて支援計画を作成をしています。 ・ 一緒にお部屋に入っている職員と会議録を共有しながら、しっかりその子についてアセスメントできていると思います。	自分たちでの評価はもちろん専門職による検査や指導内容等のアセスメントも含め、支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			保護者アンケートやアセスメントシート、関わる職員同士で会議を行い、支援計画の作成を行っています。会議になるべく多くの職員が参加できるように、時間を調整していきます。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			活動前の打ち合わせにおいて、個人の課題、目標等を確認しながら、活動に入っています。今後も計画に沿った支援が行われるよう努めてまいります。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			お子様の成長や発達を標準化された心理検査や発達検査を用いて客観的に見立てを行い、支援計画等に繋げています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			今年度から支援計画の書式についても本人支援、家族支援、移行支援、地域支援と項目を分けて、計画がきちんと立てられるようにしました。今後も子どもの支援目標が適切に検討されるようにしていきます。	

支 援 の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		反省の際に、それぞれから出た反省を改善し次の活動に取り組んでいます。グループとして今後育ってほしい姿や、その為の遊びについて話し合って活動を決めるときもあります。また、子どもたちが好きな遊びやその日の様子なども共有しながら、子どもの共通理解に努めています。	ガイドライン5領域、子どもたちの姿や興味、季節の行事などに留意しながら、職員で意見を出し合い、プログラムの立案をしています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		子どもの課題を考えながら活動を考えています。子どもによっては、間をあげずに繰り返し同じ内容を楽しむことで成長を見られる子どももいるので、繰り返し楽しむ経験として大切にしています。	活動が固定化しないようにガイドラインを確認しながら、5領域を網羅できるように1か月のおたよりを作成しています。今後も様々な体験をことりできるように工夫していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○			基本的には小集団での活動ですが、個々の発達に合わせて自由あそびではじゅくりと本人の課題や興味に合わせて遊べるように設定しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			今後も打ち合わせの時間を丁寧に、連携をはかりながら、支援ができるように努めてまいります。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○			次の活動に生かせるように、振り返り場面で改善点、次の課題等も共有できるようにしています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○			子どもたちが登園してきた日の様子を一人ひとり記録しています。また、保護者の方とも共有していますので、今後も子どもたちの様子を分かりやすくお伝えできるようにしていきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			相談支援事業所と連携をはかりながら、定期的にモニタリングを実施しています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			児童発達支援管理責任者や子どもの担当が会議には参加しています。事前に様子を共有しながら、会に参加しています。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			必要に応じて、関係機関と連携を図っています。引き続き、地域と連携をとりながら、すごしていくようにしていきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			就園、就学に向けて保護者はもちろん相談支援や関係機関とも連携をとりながら、安心して、移行できるようにしています。今後も情報共有を図りながら、スムーズに移行できるようにしていきますので、要望等があらわれる時には遠慮なくお話しください。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		夢すこやかファイルの移行支援シートを作成し、卒園時にお渡ししています。	夢すこやかファイルの作成と合わせて、北ネットなど移行支援の連絡会などに担当者が参加し、就学先と情報共有を行っています。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		鹿児島市のセンターが集まる会議に参加しています。	センターが集まる会議等（鹿児島市、鹿児島県）に管理者が積極的に参加をしています。事業所との連絡会を設けるなかで、地域の事業所と連携を図ったり、勉強会や事例検討などを行い、質の向上に努めています。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			外部の研修等に参加し、参加できなかった職員へも研修報告等を行いながら、情報を共有しています。来園指導に来ていただいている先生には書籍等も紹介していただき、職員の勉強の機会を設けています。
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○			管理者が参加をし、現場へ報告しています。
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。					
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○			風のごりとしての交流機会は設けていませんが、こども園、保育園、幼稚園等に8割以上の方が就園されている状況です。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○			毎日の活動報告の連絡帳のやりとりの中で、ご家庭の様子や困り事等も共有できています。また休日の楽しいエピソード等いつも入力してくださるので、子どもたちからも楽しいお話が聞かれています。ありがとうございます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○			研修案内等は掲示板に掲示しながら、興味がありそうな保護者には口頭でお伝えしながら、情報提供を行っています。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○			契約時に、ご説明をさせていただいています。わかりずらかったことなどございましたら、遠慮なくお声掛けください。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			相談支援事業所の計画とともに、アンケートや面談等から、ニーズや困り感を共有して、支援計画の作成に臨んでいます。至らない点もあるかと思いますが、今後もこどもの最善の利益を考えながら、支援計画の作成を行っていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○			内容を一緒に確認しながら、面談を行い、同意を得た上でサインを頂き、保護者へお渡ししています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○			支援計画に向けてのアンケート等で保護者の方からの状況を確認しながら、必要に応じて面談や、書籍の紹介などを行っています。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○			保護者同士については、子どものおもちゃ作りや、プレゼントづくりなど参加、ご協力いただき、交流する場を設けています。今年は、園外での活動への兄弟の参加についてもご意見をいただきました。ご兄弟の参加できる行事等も検討していきたいと思っています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			ご相談を受けた時には迅速に対応し、担当や児童発達支援管理責任者等で面談の席を設けています。今後も遠慮なくご相談ください。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○			毎月月末に、翌月のおたよりを発行しています。ブログの更新頻度をあげられるようにし、活動の様子等をお知らせしていけるようにします。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			引き続き、個人情報の取り扱いについては十分に気を付けていきます。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			視覚提示、書面での情報共有などそれぞれに合った情報伝達でコミュニケーションがとれるように、今後も個別の対応を丁寧に行っていきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			地域の清掃活動や、町内会の総会等に参加し、近隣の方との交流が図られ、ご近所の方との関りも深まってきたように感じます。子どもたちの様子もほほえましく見守っていただいています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○			マニュアル関係も保護者が自由に閲覧できるようにしています。避難訓練等も一緒にしながら、非常時に備えています。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○			BCPの研修も行いながら、職員への周知ができています。毎月行っている避難訓練についても有事に備えて、日々更新しながら、行っています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○			肘内障、アレルギー、熱性けいれんなども確認し、職員間で情報を共有しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づき対応がされているか。	○			医師の指示書に従い、除去食、代替食の提供を行っています。保護者の方には毎月の献立について確認、サインをいただいています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			記録を残し、職員全体で共有するようにしています。	安全計画を作成しており、年間の研修計画等にも組み込み安全管理を意識した支援が行えるようにしております。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。				安全計画を作成しており、ホームページにて掲載して周知を図っております。

51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			ヒヤリハットの事例をその都度職員全体で確認し、大きな事故につながらないように改善できるところはしていきながら、子どもたちの安全を見守っています。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○			毎年、虐待研修を行いながら、子どもたちの安心安全な環境をつくっていきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○			身体拘束が必要となるお子さんは現在いらっしゃらないですが、必要な際には保護者の方にもしっかりと説明を行い、支援計画にも記載していきます。